

やさしい言葉をとどけよう

対 象

小学生低学年（園児）から中学年

ねらい

- ・困っている子への言葉掛けを考えることを通して、相手の立場を考えることができる。
- ・一人一人大切にされる権利（「子どもの権利条約」）があることを知る。

留意点

- ・学級の実態により配慮が必要な場合は、例文を変更して扱う。
- ・お互いの考えを認め合えるようなあたたかな雰囲気を作る。
- ・園児には、ロールプレイでの場面提示をしたり、言葉でのやりとりで内容を進めたりする。また、やさしい言葉に置き換えて話をする。

特別支援学校での取り組み方法

- ・場面設定を説明する時に、ロールプレイなどを取り入れ、分かりやすく伝える。
- ・「子どもの権利条約」の内容について、触れながら説明をする。

学習指導要領との関連（例）

- ・小学校 1・2・3・4年 道徳 A 特別活動「学級活動」（1）（2）

進め方

流れ	展開と内容
導入 (5分)	・毎日の生活の中で、困ったり、不安になったりした場面について考えてみましょう。
展開 (30分)	【ワーク1】 ・【場面1】 【場面2】の困っている人に、やさしくはなしかけることばを考えましょう。 ・みんなの考えを聞いてみましょう。 【ワーク2】 ・みんなが楽しく過ごすための方法を考えよう。 【ワーク3】 ・「子どもの権利条約」を知ろう。 ・「子どもの権利条約」は、みなさんにも認められている権利です。
まとめ (10分)	【ワーク4】 ・気づいたことや考えたことを書きましょう。

【短縮して実施するためのアイデア】 ワーク1、2を中心に実施する。

ワークシート 「やさしいことばをとどけよう」

1 こんなとき、どんなことばをかけますか？

【場面1】こまっているAさん
友だちとおにごっこをしてあそびたいけれど、友だちになかなか言い出せないAさん。自分が言うともみんなにいやなおをされてしまいそうで不安なんだそうです。

- ① やさしくはなしかけることばを考えましょう。



Speech bubble for writing an answer to question 1.

- ② みんなの考えをきいてみましょう。

【場面2】こまっているBさん
同じクラスの子が、自分の方を見て、ひそひそ話をしている様子が気になるBさん。少し前に、自分の持ち物に落書きがされていたり、くつがかくされたりすることがあったようです。

- ③ やさしくはなしかけることばを考えましょう。



Speech bubble for writing an answer to question 3.

- ④ みんなの考えをきいてみましょう。

- 2 みんなが楽しくすごすためには、どうすればよいでしょうか。

Large empty box for writing an answer to question 2.

- 3 「子どもの権利条約」を知ろう。

世界中の子どもの命と成長を守りたいという願いから、世界の国々が力を合わせて決めた約束のことです。

- 子どもは、みんな命を大切にされ、すこやかに育ち生きることができます。
- 国のちがいや話す言葉やはだの色、男か女かなどによって、差別されません。
- 暴力やいじめから守られます。
- 良さが認められ、みんなの気持ちや考えは、大切にされます。

- 4 気づいたことや考えたことを書きましょう。

Large empty box for writing an answer to question 4.